



第
39
回

ふくしま 緑の百景 歩こう会

2026年
10/18日
葛尾村

五十人山を望みながらあぶくま高原の風を感じるコース

「緑と水の森林ファンド」事業

「ふくしま緑の百景歩こう会」は、「緑と水の森林ファンド」事業として、
緑と自然の大切さを認識し、健康増進も兼ねて実施するウォーキング大会です。



参加無料
但し昼食、飲み物等は
各自持参

タイムスケジュール

受	付	午前 8:30～ 9:30
開	会	式 午前 9:30
ス	タ	ー
タ	ー	ト 午前10:00
フ	ィ	ニ
ィ	ニ	ッ
ッ	シ	ュ(最終) 午後 2:00

コースガイド

葛尾村の緑の百景の選定地である五十人山を望みながら、
村内の施設等をめぐる特設コース全行程約11km。葛尾村
の歴史と文化の町並みとともに、豊かな自然を満喫するコース
を楽しみながら、途中3カ所のチェックポイントを回ります。
チェックポイントでは特産品のふるまいがあります！

主 催／葛尾村 (公社)福島県森林・林業・緑化協会
福島民報社

■後 援／福島県 (公財)福島県スポーツ協会 福島県社会福祉協議会
日本赤十字社福島県支部 福島県医師会 福島県婦人団体連合会
福島県PTA連合会 福島県ウォーキング協会
ラジオ福島 福島テレビ テレビユー福島
スポーツニッポン新聞社福島支局

■協 力／双葉警察署 双葉警察署浪江分庁舎
一般社団法人 葛尾むらづくり公社

緑の募金のお願い

参加は無料ですが、当日任意で募金のご協力をお願いいたします。寄せられた浄財は、福島民報教育福祉事業団を通じ、葛尾村緑化推進委員会に緑の募金として寄託します。



お申込方法

定員 600人

定員になり次第、締め切りとさせていただきます。当日は必ず、受付票を持参ください。

※参加は、事前に申し込みされた方のみとさせていただきます。

※申し込みされた方には、受付票を送付します。

往復はがき・または右記の申し込み二次元コードから、参加代表者の郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・参加者全員の氏名・年齢・交通手段(車の場合はその台数)を明記し、事務局にお申し込みください。

※駐車場に限りがあるため、車の場合には乗り合わせにご協力ください。

※スタート・ゴール会場のおぜりあや葛尾村農業用倉庫などに駐車可能です。



締め切り／2026年10月2日(金) 必着

お申込往復はがきの記入例

往信おもて面

往復はがき

9608602

福島民報社事務局
「ふくしま緑の百景
歩こう会」係

福島市太田町13-17

往信うら面

代表者

〒〇〇〇-〇〇〇〇
住所／〇〇〇〇〇〇〇〇
氏名／〇〇〇〇〇〇〇〇
年齢／〇〇歳
電話／〇〇〇-〇〇〇〇
参加者全員の氏名・年齢
交通手段(車〇台など)

※いただいた個人情報は、連絡以外の目的では使用しません。

受付票を当日(10月18日⑤)忘れずにお持ちください。

お申し込み・お問い合わせ事務局

〒960-8602 福島市太田町13-17 福島民報社事業局内
「第39回ふくしま緑の百景歩こう会」事務局

TEL: 024-531-4171 FAX: 024-531-4157
E-mail: jigyo@fukushima-minpo.co.jp

● 巨大風車の展望台(阿武隈風力発電所展望施設)



高原にそびえ立つ巨大な風車群。展望台からは、阿武隈風力発電所の46基のうち16基、さらに葛尾風力発電所の5基を合わせた21基の風車をご覧いただけます。阿武隈高原一帯(葛尾村・浪江町・大熊町・田村市)に設置されている阿武隈風力発電所は、総発電出力約147MWを誇る、日本最大の陸上風力発電所です(令和7年12月時点)。概ね12万世帯分の消費電力を発電できるパワーを持っています。風車の高さは約140m。50階建てのビルにも匹敵する巨大さです。

● 復興交流館 あぜりあ

葛尾村の旅の中心とも言える複合施設。無料のレンタサイクルを借りて、里山サイクリングを楽しむという手も。

マウンテンバイク、電動自転車、ストライダーがレンタルできます。

開放的なスペースで挽きたてのコーヒーを飲んだり、無料の給茶機があったりと、ひと休みできるのも嬉しいところ。

売店には、葛尾ならではのおみやげが勢揃い。葛尾産のブランド羊肉「メルティーシープ」が買える、ユニークな自動販売機もあります。



● 石井食堂



葛尾村の中心部に店を構える石井食堂は、知人ぞ知る“デカ盛りの名所”。テレビでも紹介された名物の大盛りチャーハン(チャハンは、迫力の一皿。使用のお米は、普通盛りで3合、大盛りは5合!!)食べきれなかった分は専用バックで持ち帰ることもでき、遠方からこのチャーハンを目当てに訪れるファンも少なくありません。

他にも、分厚いトンカツがドカンと乗った「かつ丼」、豚肉たっぷりの「焼肉定食」など、ガッツリ食べたい派に嬉しいメニューがいっぱい。

しっかり食べたい旅のひとつときに、石井食堂のボリューム満点メニューをぜひ。

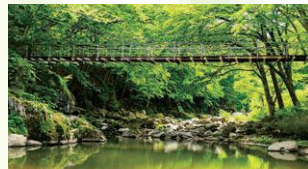


葛尾村のみどころ

● 高瀬川渓谷

新緑と紅葉の名所、高瀬川渓谷。村の暮らしをうるおす清流です。注目したいのが、高瀬川にかかる吊り橋。

実際に渡ることはできませんが、周囲を包む豊かな自然と吊り橋が織りなす風景はまるで1枚の絵画のよう。派手さはないものの、葛尾村らしい落ち着いた景観のひとつ。思わずカメラを向けたくなる映えスポットです。



● 五十人山(ふくしま緑の百景 選定地)



阿武隈高原中部県立自然公園にも指定されている自然豊かな山で、ブナ、カエデ、ナラなどの森林浴を楽しめます。標高883mのなだらかな低山で、登山初心者や親子ハイキングにもおすすめ。

五十人山という変わった名前は、「平安時代、蝦夷討伐のため北へ向かう道中だった坂上田村麻呂(さかのうえのたむらもろ)が山頂の大石に家来50人を座らせ、蝦夷討伐の作戦を練った」ことに由来していると言われています。

● 葛尾大尽屋敷跡公園

江戸時代から明治時代にかけて約200年間、栄華を誇った豪商・松本一族。木材・塩・生糸・製鉄業などで巨大な富を築き、「葛尾大尽(かつらおだいじん)」と呼ばれました。現在は一族が残した広大な敷地跡が公園となっています。



春には葛尾村の天然記念物に指定されている樹齢200年を超えるしだれ桜が咲き誇り、秋には近江八景を模して造られたという庭園に色づく紅葉が鮮やかに景色を彩ります。

特に紅葉は、葛尾村屈指の名所です。木々は京都・近江から取り寄せたとも伝えられています。

● クリムゾンクローバー畑



葛尾村の初夏を彩るクリムゾンクローバー。真紅の絨毯のように畑一面に広がる風景は絶景です。

ろうそく・松明の炎や、逆さにしたイチゴにも似た形から、「ストロベリーキャンドル」「ストロベリートーチ」と呼ばれることもあります。

例年、花のピークは5月中旬から6月中旬頃。見頃を過ぎると畑は耕されるため、限られた期間だけ出会える特別な景色です。

ふくしまの森づくり、人づくりに活用しています。



緑の募金のお願い

緑化運動標語「植える木に 夢がふくらむ 緑の郷土」

緑の募金は、緑豊かな美しいふくしまを未来につなぐため、地域の人々の身近な緑化活動や、森林の整備、次代を担う青少年の森林体験活動などに役立てております。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

募金運動期間 ● 【春の新緑シーズン】4月1日～5月31日 【秋の紅葉シーズン】9月1日～10月31日

募金の窓口 ● 公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会、各市町村緑化推進委員会